



Dr.塚田の 健康コラム

ちょっと役立つ

新型ワクチンで感染予防

塚田芳久(つかだ・よしひさ) / 1979年新潟大学医学部卒。2016年から県立新潟田病院長、現名誉院長。23年からJA新潟厚生連理事長。20年から新潟県医師会副会長 / 新潟県ボウリング連盟会長(03年~)、JBC理事(08年~22年)、同副会長(20年~22年) / 日体協公認スポーツクター、JOC医・科学強化スタッフ

今年はひときわ暑い夏でしたね。線状降水帯による集中豪雨災害、ゲリラ豪雨や連日の真夏日など、異常気象が続きました。3年以上続く新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響と相まって、感染症の状況も通念とは異なる傾向が見られます。

例年も夏季休暇やお祭りなどのイベントに合わせ、人流が大きく増える時期です。感染症に対する標準予防策、なかでもマスク着用や手指消毒は、多くの

感染症の流行を阻止しました。代表的なのは、冬に流行するはずの季節性インフルエンザの流行が、3年続けてなかったことです。

それ以外にも、子供のころにかかる感染症はほとんど姿を消していました。おたふくかぜ、水痘、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、手足口病、プール熱、A型溶連菌、伝染性紅斑、突発性発疹、百日咳、ヒトメタニューモウイルス…、名のある感染症だけでも、数え上げ

ればきりがありません。幼稚園や保育園に通うと、少しずつ症状の違う風邪をもらってきますよね。

新型コロナウイルス感染症が5類になる前のころから、ヘルパンギーナやRSウイルスを皮切りに、子供たちの間で風邪が広がるようになってきました。最近では高熱を出すインフルエンザA型がときどき見られます。冬の季節性インフルエンザが、夏に流行する経験は初めてです。以前より沖縄県では夏に流



行すると聞いていましたが、異常な暑さは季節性の意味を変えるのでしょうか。

9月20日から新たなオミクロンXBB.1.5の1価ワクチンの接種が開始されました。従来の起原株、オミクロン株BA.4-5

の2価ワクチンからの変更になります。初回免疫の2回接種を終えた方のなかで追加免疫を得たい人は、生後6か月の乳幼児から接種可能になります。10月からのインフルエンザワクチンとの同時接種も可能です。

今後XBB株からEG.5に変異するといわれています。変異のたびに弱毒化して怖さは少なくなりますが、パンデミックを終結させるためには、免疫を高め感染の連鎖を断ち切る必要があります。



知って得する ボウリング用品の知識

佐藤秀樹プロが指南

19. ボウラーにとっての必須アイテム



佐藤秀樹(さとう・ひでき) / 1982年8月22日生まれ、山梨県出身。2007年プロ入り(46期 / ライセンスNo1137)。172cm68kg。プロショップVEGA所属(プロショップ直販部マネージャー) / JPBA公認C級インストラクター、JBC公認ドリラー(シルバー)。

今回は初心に帰って、ボウラーにとって最低限必要なアイテムについてご案内していきたいと思います。

まず用意する必要があるのは

ハサミですね。ボウリングを始めるのに、これがなければ始まりません。テープを切るためにはもちろん、サムホルルの面取りにも使用可能です。次に必要なのはピンセット

です。インサートテープを貼ったりはがしたり。代用品として千枚通しやマイナスドライバーなど、先端が硬くてとがっているものを使ってい

るボウラーもいます。初心者におすすめなのが【ルーキーズセット】です。ハサミとピンセット、さらにはサムホル調整用テープ6種類、親指保護テープ4種類、フィンガー保護テープ3種類がまとめてポーチに入っています。保護用テープもインサートテープもいくつか種類があるので、そのなかからどれを選べばいいのか悩みますよね? 1シートずつ入っているのをお試し用として便利です。



ボールクリナーはさまざまなタイプがあるので、自分の使いやすいものを選ぶのがポイント。



真つ先に用意したいのはハサミ



初心者にお勧めしたいルーキーズセット

次に必要なのはボールクリナーとふき上げ用のマイクロファイバータオルです。ボウリングが終わったあとに必ず表面のクリーニングをすることで、ボールのパフォーマンスを長持ちさせることができます。

ボールクリナーにはスプレー、ムース、ワイプなどさまざまなタイプがあるので、自分がいちばん使いやすいものを選

びましょう。スプレータイプを使用する際に、ボールリターンの上で使わないように気をつけましょう。誤ってアプローチ上にクリナーが飛んでしまう可能性があります。ワイプがいちばん使いやすいのでおすすめです。クリナー液が乾いてしまうと効果がなくなってしまうので、ジッパーの閉め忘れに注意しましょう。



棚橋孝太プロの プロショップ探訪

ドリル後のアフターフォローも万全

⑩本八幡スターレーンプロショップ (千葉県市川市)

今月紹介するプロショップは、千葉県市川市にある本八幡スターレーンのプロショップです。プロショップ担当社員の相沢学課長のほかにも、ベテラン寺田勉子プロ、貞松保行プロに、長縄多禧子プロもドリルを担当します。ちなみに筆者も不

定期ですが、ドリルとレッスンをしています。プロショップの売りは、豊富な在庫に加えて、どの曜日にもほぼドリラーが在中しているために、お客様の希望の日時にドリル対応ができることです。また多数のプロボウ

ラーによるレッスンも定期的に行われているので、投げ方をチェックしてもらってから、ボールの購入の相談ができることも魅力だと思います。

相沢さん自身も「ドリルに対するこだわりとして、まず投げるところを確認してからドリル

をすること。そしてドリル完成後に再度投球を確認して、しっかりとアフターフォローをすること」をモットーとしているそうです。

ただドリルだけをしてお渡ししたら終わりではなく、その方が上手く投げられているか、ど

こか痛くなってはいないだろうか、常に事後の追跡をしています。

ドリルマシンも新しくして、ボールの表面加工ができるボールクリニックも導入し、多くのお客様に喜ばれています。オイル抜きで人気のあるデトックス

もあるので、ぜひ試してみてください。

十分な設備投資もを行い、より質の高いサービスを提供していく本八幡スターレーンでは、人気プロのチャレンジなど、豊富なイベント企画もあるので、参加がてらプロショップものぞいてみてください。探し物が見つかるかもしれませんよ。



「アフターフォローをおろそかにしない」と、プロショップ責任者の相沢課長

棚橋孝太(たなはしこうた) / 1982年1月19日生まれ、高知県出身。2007年プロ入り(46期 / ライセンスNo1145)。168cm72kg、右投げ。優勝1回。JOC強化スタッフ・日本スポーツ協会公認指導員・USBCシルバーコーチ・JBC公認ドリラー



ボールやシューズ、小物など、豊富な在庫を用意



表面加工の要望に応えられるように、ボールクリニックを導入